

## 補論：STOU プラン

### ー スコータイ・タマチラート公開大学の遠隔教育システム ー

ニコム・タダング

#### 1. 背景

スコータイ・タマチラート公開大学は、タイの国立大学である。1978年に設置され、1980年に最初の学生を受け入れた。スコータイ・タマチラート公開大学は、7つの管理部門と10の学部で構成されている。学部は、教養学部、経営学部、経済学部、保健科学部、政治学部、教育学部、法学部、家政学部、農業公開講座・協力学部、広報学部がある。STOU は、真の公開教育を行っているという意味で公開大学であり、在来型の教師による授業はなく、チュートリアル・セッションや集中ワークショップが行われている。現在、タイ全国で約45万人の学生が在宅学習を行っている。

#### 2. カリキュラム

STOU は、成人向けの生涯教育を行う公開大学であり、すべてのカリキュラムは能力ベース別の形に設定されている。各カリキュラムは、それぞれ明確な目標を持ち、プログラムに組み立てられている。プログラムには以下の4つの種類がある。

##### 2.1 4年間の学士号取得プログラム

入学試験のないこのプログラムの学生として学籍登録できるのは、高等学校（12年間）を修了するか又はそれと同等のレベルの者、あるいは、中学校（10年間）を修了し、修了証書を取得してから5年間の労働の経験のあるものでなければならず、年齢は登録の年に20歳を越えていなければならない。卒業するには、この大学で4年間～12年間にわたって学習し、試験に合格して144以上の履修単位を取得しなければならない。

##### 2.2 継続学士号取得プログラム

このプログラムの入学資格要件は、STOU 学術評議員会（STOU Academic Senate）の承認した高等教育機関の卒業証書または何らかのレベルの修了証書を取得していること、もしくはそれと同等のレベルであることである。卒業するには、この大学で2年間～6年間にわたって学習し、試験に合格して72以上の履修単位を取得しなければならない。

##### 2.3 免許プログラム

この免許プログラムでは、1年間もしくは2年間の修了証書が交付される。このプログラムは、キャリアと専門知識を改善したいと考える一般成人向けである。

##### 2.4 学力証明書プログラム

これは、大学が提供する教育サービスで、個人はこのサービスを利用して大学教育にアクセスできる。このプログラムの参加者は、人格を磨き、専門知識を身につけるために、1学期にひとつのコースを選択することができる。年齢制限はなく、このプログラムに登録するには学



関連主題が一環して取り扱われており、オープン・エンド・コース（open-end course）になっている。オープン・エンド・コースとは、単純に言えば、導入、理論、実践、応用が含まれているコース・ブロックである。学習する者は、他の資料を使わないでも、それを利用することができる。したがって、STOU のコース・ブロックには先行学習必要条件はない。学生は、どの学期でも、好きなように選択できる。その結果として、(2)で述べた免許プログラムや学力証明書プログラムのうちの適切なものに、コース・ブロックを組み込むことができる。

マルチ・メディア個別学習パッケージに編成されたコース・ブロックは、主なメディアである印刷教材すなわちプログラム化された教科書とワークブックとそれを支える他のメディアとで構成されている。補助メディアには、オーディオ・カセット、ラジオ番組、テレビ番組、参考書、チュートリアルのほか、一部の特殊なコース・ブロックの場合の集中ワークショップがある。こうしたメディアは、ステップ4の配布システムによって、学生に届けられる。印刷共済とオーディオ・カセットは、学籍登録した学生に直接郵送さる。ラジオ番組とテレビ番組は、地域の90パーセントをサービスエリアとする放送ネットワークによって放送される。参考書は、全国の県立図書館（Provincial Public Library）の「STOU コーナー」で準備されている。

コース・ブロックには6つの履修単位が含まれているため、学生は、ひとつのコース・ブロックで、16週間にわたって1週間に12～18時間学習することになる。したがって、1学期に3つまでのコース・ブロックすなわち18単位の履修が、学生に許されている。学生は、最後のステップで、試験を受けなければならない。この試験は、全国84の地域学習センターで、各学期の最後の土曜日と日曜日に実施される。学生は、各自のプログラムに従って卒業するために、以下のとおりに、試験に合格し、履修単位を累積させなければならない。4年間の学士号取得プログラムについては12コース・ブロック、1年間の免許プログラムについては5つのコース・ブロック、2年間の免許プログラムについては10コース・ブロック。コース・ブロックはSTOUのマルチ・メディアパッケージの標準単位であるため、その作成と使用については後段でもっと詳しく説明したい。

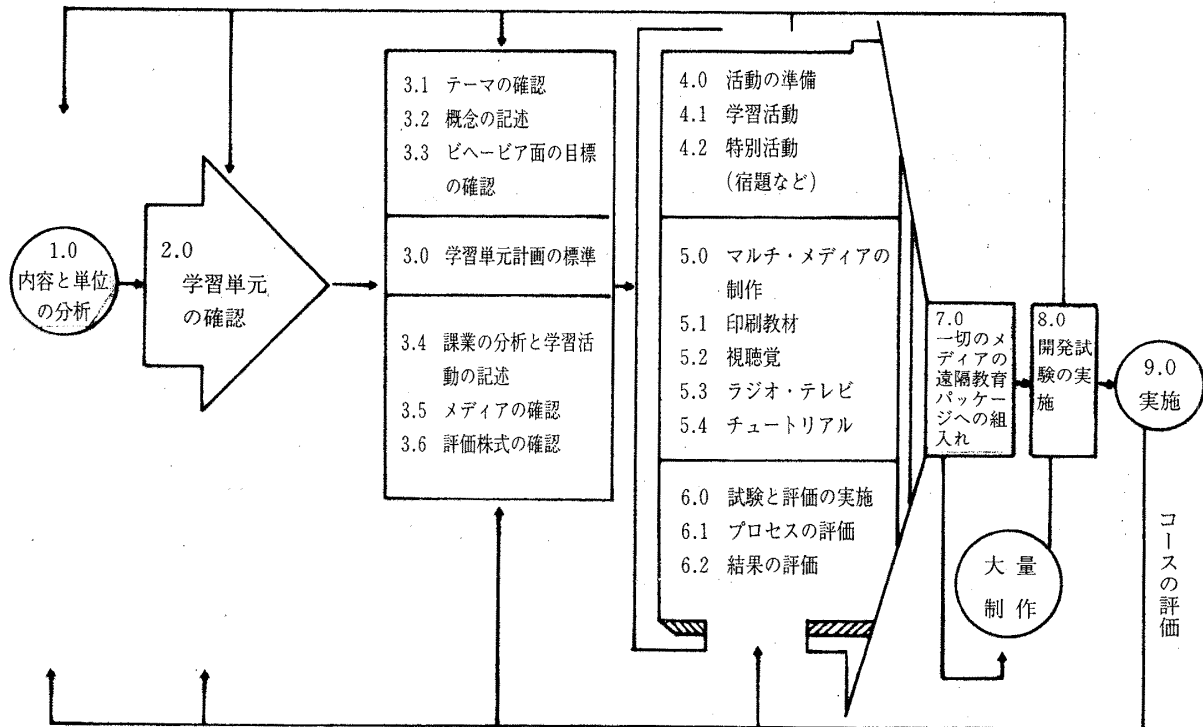
#### 4. 遠隔メディア制作システム

コース・ブロックの範囲と目標は、前段ですでに説明したとおり、学部と大学学術評議員会によって、各プログラムのカリキュラムの中で、はっきりと説明される。学部は、コース・ブロックの教育パッケージを制作するために、コース・ブロックの開発、制作、管理に責任を負うコース・チームを任命する必要がある。したがって、コース・ブロックと等しい数のコース・チームが存在する。コース・チームは、教育内容専門家3～5人、試験専門家1人、教育工学者1人、座長1人、書記1人で構成されている。コース・チームの座長と書記は通常STOUの教授陣のなかから選出される。他のメンバーは、STOUの教授陣あるいは他のセクター（政府または民間）から選出できる。

コースチームは、「遠隔メディア制作システム」チャートに従って1歩づつ作業をすすめる。コース・チームは、コース・ブロックのデリバリーの前に、少なくとも、1年半の任期にて任命され、作業を行う。

ひとつのコース・ブロックには、1学期が16週間であるという理由から、15の単元が含まれ

図2 遠隔メディア制作システム



ている。学生は、1週間に1つの単元を学習し、最後の1週は試験の準備のための時間にあてられる。コース・チームは、第1段階として、学習単元を分割、確認するために、範囲と目標という観点からコース・ブロックの内容を分析しなければならない。各学習単元の範囲と目標は、この段階で、コース・チームがデザインする。また、必要に応じて共同制作者が選任される。

#### 4.2 コース・ブロックの制作についての訓練ワークショップ

コース・チームのメンバーと共同制作者は、マルチ・メディア個別学習パッケージの制作方法についての訓練ワークショップに、参加しなければならない。この訓練ワークショップは、STOU が実施している。訓練で不適格と判断されたコース・チームのメンバーと共同制作者は、コース・チームから解任される。これまでの経験からいえば、システムに適さないと判断したために自らコース・チームに加わることを否定したメンバーは、ほとんどいないといってよい。

#### 4.3 学習単元計画の作成

コース・チームのメンバーと共同制作者は、この段階で、協力しあって課業分析を実施し、各学習単元の学習目標を設定し、単元のタイトル、テーマ、小テーマを確認し、コース・ブロックの全般的な考え方を見取り図、すなわち単元テーマ、小テーマの構造的関係の作成にとりかかる。コース・チームのメンバーと共同制作者は、次いで、コース・チームが割り当てた各自の単元またはテーマの詳しい内容と利用するメディアを点検する。作業の完了後、各自がその結果をコース・チームに提出し、その精査と承認を受ける。

#### 4.4 印刷教材の準備

印刷教材は STOU の教育システムの主要なメディアであるため、他のメディアを利用でき

ない学生が学業を達成できるような形で、詳しい内容と概念を印刷教材に盛り込む必要がある。

#### 4.4.1 プログラム教科書

STOU 方式そのものであるプログラム化された教科書は、フレームではなく、小テーマごとに分けられている。学生からの反応を必要とする宿題が、各小テーマの末尾に付いており、ワークブックの一部を構成している。プログラム教科書は、以下のような内容が盛り込まれている。

- ーコース・ブロックの学習指導案
- ーコース・ブロックの授業計画
- ー15の学習単元
- ーコース・ブロックのラジオ・テレビ番組用のガイドライン
- ー視聴覚教材その他の関連情報

単元がプログラム教科書のおもな内容であり、したがって、その構造を説明する必要がある。単元には、以下のような内容が盛り込まれている。

- ー単元の表紙（表紙のデザイン、単元の番号、単元のタイトル、作者の氏名を含む）
- ー単元のテーマ。ひとつの単元の内容は2～6、通常は6つのテーマに分けられる。それは、ひとつの単元が1週間（12～18時間）で学習されると予想されるためである。したがって、ひとつのテーマは2時間以内に学習できる。ひとつのテーマの内容には、テーマ計画（小テーマ、概念、そのテーマの学習目標、行動目的を含む）、小テーマ、相互の反応を必要とする宿題、そのヒントが含まれている。テーマは普通、ひとつのサブテーマを30分ないしは1時間以内に学習できるよう、2～4のサブテーマに分けられている。相互の反応を必要とする活動の宿題が、各小テーマの末尾に置かれている。これらの宿題は、試験、労働、調査、実験のほか、学力を強化し、その小テーマについてもっと包括的な知識を得させるもので、構成されている。そうして、こうした宿題はワークブックの一部となっている。

#### 4.4.2 ワークブック

ワークブックは、1組のプログラム教科書である。ワークブックには、以下の内容が盛り込まれている。

- ー各単元について学生が自分で行う予備試験。この予備試験が盛り込まれているため、学生は、その単元についての予備知識を自分で評価し、自分の学習計画を適正に立てることができる。
- ー各小テーマについて学生がメモをとったり、結論を記したりするための余白。
- ー各小テーマの相互作用型式の学習活動のための余白とデータ。
- ー各単元についての学生の自己評価テスト。これが盛り込まれているため、学生はその単元について自分の成績を吟味できる。

#### 4.5 オーディオカセット

オーディオカセットは通常、印刷教材と共に学生に送られる。ひとつのコース・ブロックは、コース・チームの指定に従って、1～3のカセット（C60）で構成されている。外国語についてのコース・ブロックなど、一部のコース・ブロックには、コース・チームが必要と判断した場合には、3つ以上のオーディオ・カセットが付く。オーディオ・カセットは、補助教材であ

るため、以下のように、印刷教材の弱点を補うために使われている。

4.5.1 導入部として、コース・ブロックや一部の学習単元の全般的特性を説明する。

4.5.2 各学習単位のおもな概念、おもな点を締めくくる。

4.5.3 ワークブックのなかの一部の相互作用形式の宿題についてフィードバック的な説明をする。講義についてあらかじめ教える。未だ一般化されておらず変更の可能性のある内容を示す、プログラム教科書に盛り込むのに適していない、混乱を起こす可能性のある説明をする、など。

4.5.4 自宅実験や学生の実践活動を方向づけ、外国語の発音、古代楽器の音のように他のメディアでは明確にできない音、メロディー、テンポなどを実演する。

4.5.5 関連主題について識者の特別な見解を紹介する、あるいは現場の生の音を聞かせる。

4.5.6 特別に作成された絵画、写真、絵画または写真のシリーズ、チャート、地図、ダイヤグラムなどを説明するためにオーディオ・テープを使う方法である、「オーディオ・ビジョン・テクニック (Audiovision Technique)」の中で使う。

オーディオ・カセットのおもなアイデアや内容は、コース・チームによって作られる。制作には、教育工学局 (Office of Educational Technology) があたり、同局では、教育工学専門家 (コース・チームのメンバー) が、プロデューサー兼ディレクターとして、責任を負っている。

#### 4.6 ラジオ番組

ラジオ番組は、コース・ブロックの他のメディアを補う補助メディアとして使われる。ひとつのコース・ブロックに15～17のラジオ番組 (20分番組) が含まれる。ひとつの学習単位につき、ひとつの番組のほか、コース・ブロックの導入部としてひとつの番組、最終試験のための助言としてひとつの番組の計3つの番組がある。STOU のラジオ番組は、非公式の学習資源として、学生と一般大衆の両方を対象とする、オープン・エンドの教材である。したがって、プログラムは、STOU の学生ではない一般人が理解できるような形で、制作されている。STOU のラジオ番組は、国の90パーセント以上をカバーする全国教育ラジオ放送 (National Educational Radio Network) を通じて、放送されており、また県の図書館で使うためにダビングされている。

補助メディアとしてのラジオ番組は、以下のように使われている。

4.6.1 関連テーマについて批判的な思考を促し、専門家とのインタビューやディスカッションを紹介する。

4.6.2 他のメディアでは有効に紹介できないアイデアや内容を紹介する。

4.6.3 学生の双方向学習のフィードバックとなり、また抽象的な内容をより詳しく紹介する。

4.6.4 写真、絵画、ダイヤグラムなどの他の教材を制作し、事前に聴衆に届ける「ラジオ画像技術 (Radio-Vision Technique)」の中で使う。

ラジオ番組の主要なるテーマはコース・チームが作成し、コース・チームのメンバーである教育工学専門家が制作する。教育工学専門家は、番組のプロデューサー兼ディレクターとして活動し、教育工学局の技術スタッフが、それを助けるのである。

#### 4.7 テレビ番組

テレビ番組は、ラジオ番組と同じように、補助メディアである。コース・ブロックには、5～7のテレビ番組（30分）しか含まれていない。STOUのテレビ番組は、ラジオ番組と同じように、STOUの学生だけでなく、一般大衆をも対象としている。STOUのテレビ番組は、マス・コミュニケーション・オーソリティ・オブ・タイランド（Mass Communication Authority of Thailand）のチャンネルで放送され、タイ広報省（Department of Public Relation of Thailand）の11の地方局からも同時に放送されている。両者併わせて、国の85パーセント以上がカバーされている。

テレビ番組の特徴は、ほぼオープン・エンドのドキュメンタリー形式であることにある。コース・チームは、おもに以下のとおり、他のメディアでは効果的に説明できない点、内容・問題を説明するときのみ、テレビ番組の利用を考えている。

4.7.1 実践活動、実験、物の力学的な動き、感触、ものの変化などを実演する。

4.7.2 さまざまな物の状態、状況、環境を紹介する。

4.7.3 教育目標の情緒領域で役割を果たす。テレビ番組の主要なアイデアはコース・チームによって作成され、台本がコース・チームの承認を得た後、コース・チームのメンバーである教育工学専門家によって制作される。テレビ番組は教育工学局で技術スタッフが制作するが、同局では、コース・チームの教育工学専門家、番組のプロデューサー兼ディレクターとして活動している。

#### 4.8 チュートリアル・パッケージ

STOUは、ひとつのコース・ブロックにつき、1学期に2つまたは10時間のチュートリアル・セッションを、提供している。チュートリアル・セッションは、全国84の地域学習センターで、土曜日から日曜日に行われている。チュートリアル・セッションは、講義形式で行うのではなく、個別学習では理解できない点についての学生と講師または専門家との間の学問的な助言のやりとりやディスカッションに、重点を置いている。STOUには、一時に84人以上のチューター（STOUの学術スタッフや他の学習教育機関から集められる）が必要であり、したがって、チューター向けの標準的な指針が必要である。そのため、コース・チームは、チュートリアル・パッケージを制作し、チューターがチュートリアル・セッションに参加する前に、チューター向けのオリエンテーション・セッションを開催する。チュートリアル・パッケージには、印刷教材、すなわちコース・ブロックの全般的な締めくくり、写真、絵、チャート、ダイアグラム、問題と討論についての指針、およびその他の必要なAV教材が、含まれている。チュートリアル・セッションは必須ではないが、STOUのこれまでの経験から30～45パーセントの学生がこのセッションに参加しているといえる。

#### 4.9 集中ワークショップ

集中ワークショップは、非常に必要とされている技術（精神運動生の技術と精神的な技術の両方）と情緒的な習慣を取り扱っている一部のコース・ブロックのために、準備されている。これらのコース・ブロックは、学生が最後の学期に学籍登録するために必要である。ワークショップでは、学生がコース・ブロック筆記試験に合格した後に、地域学習センターまたは、看護分野の学生のための地方病院、農業・協力分野の学生のための県立農業研究センターなど

の関連機関で、実施されている。ワークショップのプロセスは、学生が事前に基礎技術を実践しなければならないような構成になっている。それというのも、ワークショップ自体が学力の評価の一部として機能しなければならないためである。

## 5. 評価システム

学生は、学期の最後の土曜日か日曜日に、各自の地域学習センターで、最終試験を受けなければならない。記述式テストである法学のコース・ブロックなど、一部の特殊な型コース・ブロックを除いて、試験項目の大半は、5項目の多肢選択方式である。評価は、大学の総合学期試験委員会（General Committee for Semester Examination）の基準によって調整された基準点である。この調整は、基準が適切でないと判断されるコース・ブロックについてのみ、行われる。ひとつのコース・ブロックには100～150の試験項目があり、学生が全部の試験を終えるまでに2時間半かかる。成績が60パーセント以下の学生は不可、60～85パーセントの学生は可、85パーセント以上の学生は優の評価が下される。試験は以下のステップで実施される。

5.1 大学はコース・ブロック試験項目の採点者を任命する。この採点者は、たいいていの場合、コース・ブロックの座長と試験専門家で構成されている。

5.2 試験項目の制作について、3日間缶詰でのワークショップを実施する。コース・チームと共同制作者は全員、試験の制作者で、それぞれのテーマについて試験項目を制作する。コース・チームと共同制作者は、コース・ブロックの「試験の青写真（test blue print）」をデザインする。試験の青写真は、テーマの目標の達成についてのトータルなチャートで、試験項目の段階、すなわち半復、理解、応用、分析、総合、評価、が書き添えられている。

5.3 試験項目は、試験項目採点者が検討、承認し、次いで、登録・評価局（Office of Registration Record and Evaluation）と大学印刷局（Office of University Press）が協力して秘密裡に印刷する。

5.4 STOU の学術スタッフが、84の地域学習センターに試験項目を運び、試験を実施し、回答を持ち帰り、この回答は、STOU のコンピュータが採点する。



## 6. おわりに

簡単な締めくくりとして、STOU プランの主要なる要素を以下のとおり、日本の放送大学のシステムと比較しよう。

項 目	S T O U	放 送 大 学
メディア・システム	主要メディア 印刷教材	放送 AV 教材 主要メディア
教育システム	学期	学期
標準教育単位	6 履修単位総合主題（コース・ブロック）	2～4 履修単位総合主題
科目担当者	コース・チーム	一人もしくは複数の教員
印刷教材	主要メディア	補足
ラジオ／テレビ	補足	主要メディア
ラジオ／テレビ放送形式	ドキュメンタリー	直接の講義
チュートリアル・セッション	必修ではない	なし
集中ワークショップ	必修（一部のコース・ブロックにつき）	なし
スクーリング	なし	必修
必要な履修単位	144以上	124以上
必要な期間	4～12年	4～10年